

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

3 子育て家庭の支え合い

3-1 子育て意識

所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	22.4月組 織改正	24年度	
				担当課	実績	具体的な 取り組み内容
0605	1 重-8	栄養・食生活に関する教育・相談の実施 両親学級・乳幼児健診・離乳食講習会、育児相談などでの栄養・食生活に関する相談や教育を実施し、家庭の食生活での食育の取り組みを推進する。	継続	健康課	継続	ファミリー学級・乳幼児健診、離乳食講習会、育児相談などでの栄養・食生活に関する相談や教育を実施。 とりわけ、離乳食講習会は需要が高いため、地域子育て支援センター（保育園）との連携をはかり、地域子育て支援センターで実施している離乳食講習会に関する情報提供を引き続き充実させた。
0702				保育課	実施	ファミリー学級・乳幼児健診・育児相談・離乳食講習会などで栄養・食生活に関する相談や教育を実施した。
0402	2 重-10	地域や家庭における食育の推進 農業マップの作成や農産物の販売、農業景観散策での地域農家と市民の交流事業等を、西東京市食育推進計画に基づき総合的に推進する。また、学校での地場野菜の活用を通じて、食の安全や農業について関心を深める。	継続	産業振興課	実施	「農業わくわく散策会」を実施。「花摘みの丘」「農のアカデミー体験実習農園」を活用し、市民15名が参加。
1502				学校運営課	継続	地場野菜を給食で使用し、生産者が野菜について学校で話したり、児童がとうもろこしなどの皮むきや、そら豆のさや出しを体験し、食への関心・知識を深めた。児童・保護者を対象に親子料理教室などを実施した。
0605				健康課	充実	25年度に向けて「第2次健康づくり推進プラン」を策定した。策定に伴い、総合的な評価を行った。食育ネットワークの構築について検討した。食育に関するアンケートを市内3小学校に実施する。

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

3 子育て家庭の支え合い

3-1 子育て意識

所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	22.4月組 織改正	24年度	
				担当課	実績	具体的な 取り組み内容
0605	3 重-8	子育てに関する学習機会の充実 妊産婦や乳幼児の健康増進のため、両親学級、育児学級、各種の講習・講座・講演、健康教育・グループワークの機会や知識の普及、仲間づくりなどの内容を見直し、充実する。 新設した1歳児クラス・2歳児すくすくクラス事業の普及をさらに推進する。また幼児期だけでなく、思春期の子どもをもつ親に対する学習機会についても充実させる。 (再掲)3-2-2-(1)、3-2-2-(2)、4-2-1	継続	健康課	継続	・ファミリー学級(1コース2日間)を全て土曜日を含むコースにし、夫婦で参加しやすい環境を整え、家庭として子育てのイメージを持ってもらいながら準備ができるよう支援していく。また、その他の事業も引続き妊産婦や乳幼児の健康増進のための知識の普及等を行っていく。
1603				公民館	継続	・保育付講座の実施 乳幼児を持つ女性対象の講座を実施 10講座 総計137回 延べ1,790人 ・保育付のサークル22団体の活動の支援 ・保育付講座をPRするための「保育室プレ体験」6回 親子40組 ・情報の提供 掲示板、パンフレットコーナーでの情報の提供、問い合わせのあった市民への学習相談の実施
0701				子育て支援課	検討	検討
0704				子ども家庭支援センター	充実	・西東京市私立幼稚園連絡協議会と共催により、子育て世代の保護者を対象とした講演会を開催した。 ・2箇所の子育て広場において図書等を活用した事業を実施した。

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

3 子育て家庭の支え合い

3-1 子育て意識

所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	22.4月組 織改正	24年度	
				担当課	実績	具体的な 取り組み内容
0704	4	父親の育児参加の推進 子育ての男女共同参画を推進するため、男性が育児休業や子育て休暇をとりやすい職場環境づくりや育児休業法の周知徹底、企業に対する啓発を図る。 男性の育児や家事への参画を促すため、男性への学習機会や情報の提供を推進する。そのために、男性が参加しやすい企画や事業を、実施曜日や時間帯等を考慮しながら実施する。	継続	子ども家庭支援センター	継続	・2箇所の子育て広場で父親参加の交流事業を12回実施し、延456人が参加した。
0404				協働コミュニティ課	実施	「男女共同参画週間」のイベントとして、男性の育児参加を促すワーク・ライフ・バランスの講演会を平成24年7月7日（土）に開催。参加者28名 また、男女平等推進センター パリテの登録団体「西東京市パパクラブ」が企画した、家庭・地域・育児を楽しむパパスクール全6回（毎土曜日）の講座が、NPO等企画提案事業の新規チャレンジ部門で採択され、実施した。
1603				公民館	継続 試行	・親子いろいろ体験講座「お父さんと味噌作りに挑戦しよう」を実施し、父と子18人が参加した。
				健康課	継続	ファミリー学級 16回開催（2日目土曜日開催）にて、「先輩パパの話」を継続実施している
0404	5	子育て意識の啓発の推進 第2次男女平等参画推進計画の中の「父親の育児休業の取得に向けた啓発」等の徹底と連携しながら、子育ての責任が果たせるよう支援する事業の展開を図るとともに、親の気持ちや意見を子どもたちに届ける場、機会づくりをすすめる。	継続	協働コミュニティ課	実施	西東京市男女平等情報誌「パリテ」で、特集「家庭のこと、仕事のこと、未来のこと。～夕方7時に家族みんなで夕食を囲む方法～」や、男の料理指南などを掲載し、市内企業にチラシを配布するなど、子育て意識の啓発を行った。また、講演会参加者へ育児休業制度関係の特集を組んだ情報誌パリテ5号を配布した。
1603				公民館	継続 試行	・「お父さんと味噌作りに挑戦しよう」を実施し、父と子18人が参加した。 ・土日 24講座 ・夜間 1講座
0701				子育て支援課	検討	検討
0704				子ども家庭支援センター	継続	2箇所の子育て広場において、父親が来所しやすい場の提供をするとともに、専門スタッフのさりげない働きかけの中で、子育て、育児参加の意識の啓発を行った。

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

3 子育て家庭の支え合い

3-1 子育て意識

所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	22.4月組 織改正	24年度	
				担当課	実績	具体的な 取り組み内容
0402	6	労働時間短縮(勤務時間短縮等の周知・支援)の推進 家庭での子育ての重要性を認識し、家族と一緒に過ごす時間が多く持てるよう、労働時間の短縮についての企業啓発、さらには実施企業への支援を推進する。 (再掲)4-1-1	継続	産業振興課	継続	平成24年7月1日から改正育児・介護休業法が全面施行され、そのパンフレットを商工会に配布した。
0703	7	地域の子育て意識の醸成 個々の家庭、幼稚園・保育園、学校だけでなく、地域で子どもを育てるという意識を高めるための活動を、青少年育成会等と連携しながら推進する。 (再掲)4-4	継続	児童青少年課	継続	地域の関係機関や市民団体等が関わりながら実施する青少年育成会等の事業を支援した。
0701				子育て支援課	検討	調査・研究

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

3 子育て家庭の支え合い

3-2 子育ての支え合い

3-2-1 子育ての支え合い意識

所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	22.4月組 織改正	24年度	
				担当課	実績	具体的な 取り組み内容
0704	1	ファミリー・サポート・センター事業の充実 仕事と育児の両立や、在宅で子育てをしている家庭への支援の環境整備の一環として、保育ニーズに対応した相互支援体制を充実するため、ファミリー・サポート・センターに関する情報をわかりやすく提供する方法、利用規則の改善や障害児利用の充実、サポート会員の養成プログラムの内容および方法の充実を総合的に再検討する。 市内施設(保育園・幼稚園・学童クラブ等)と連携して、不安なくファミリー・サポート・センターを利用できるようにするための広報を実施する。	継続	子ども家庭 支援セン ター	継続	・ファミリー・サポート・センター事務局との連絡会議を実施し、相互理解を図った。 ・サポート会員ステップアップ研修で障がいのある子どもについて学び、18人が出席した。 ・会員交流会を2回実施し、56人が出席した。
2002				社会福祉 協議会	実施	市からの委託を受けて実施 ・ステップアップ講習会「障がい児の預かりについて」特別支援学校教諭による講習会を実施 ・養成講習会「子どもを安全に預かるために」の講座を3時間に延長し、実施 ・会員交流会を市内2か所(保谷地区・田無地区)で、ヨガ体験教室を実施 ・長時間の子どもの預かりについて、年齢(月齢)に応じた目安を設定
2002	2	高校生、大学生のボランティア活動支援事業の推進(再掲) 子どもと同じ目線で子どもや子育て家庭を支援する、高校生、大学生のボランティア活動支援事業を推進する。	継続	社会福祉 協議会	実施	地域活動拠点を活用して大学生が子育てサロンを実施できるよう支援した
0701				子育て支援 課	検討	調査・研究
0703	3	インターンシップ制度による高校生、大学生の子育て体験の充実(再掲) インターンシップ制度を活用し、高校生、大学生による子育てに関わる職業体験を充実する。	継続	児童青少年課	継続	武蔵野大学をはじめとする大学・専門学校よりインターンシップの受け入れた。
0702				保育課	実施	武蔵野大学看護学部の小児看護学実習、保育学科の保育実習、都立高校の職場体験を受け入れた。

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

3 子育て家庭の支え合い

3-2 子育ての支え合い

3-2-1 子育ての支え合い意識

所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	22.4月組織改正	24年度	
				担当課	実績	具体的な取り組み内容
0404	4	子育ての仲間づくり、子育てNPO・グループ等の支援の充実(再掲) 市民協働推進センターと地域活動情報ステーションを核として、「子育てひろば」などから生まれた親子グループの自主的な活動の支援や、学童クラブの午前開放など、場所と情報の提供により、子育て中の親たちが気軽に集い、打ち合わせ、情報交換できる場づくりに努める。子育てサービスの提供機会を増やしその選択肢を広げるため、子育てNPOや子育てグループ等の活動環境を充実させる。 1-2-1	継続	協働コミュニティ課	継続	・NPO等企画提案事業を通して、子育て分野で活動しているNPO等市民活動団体の活動を支援する。 ・子育て分野で活動しているNPO等市民活動団体や自分が望む子育て環境を自らの手でつくり出そうとする市民が市民活動に参加しやすい環境の充実を図るため、市民協働推進センターを運営する。 ・子育て分野で活動しているNPO等市民活動団体や自分が望む子育て環境を自らの手でつくり出そうとする市民の情報環境を整備するために、地域活動情報ステーション(市民活動支援ホームページ)を活用した。
0702				保育課	実施	基幹型保育園に設置された地域子育て支援センターにおける子育て家庭や親子グループの交流の場の提供。また、保健師や栄養士のコメントを載せた情報誌を発行した。
0704				子ども家庭支援センター	継続	・2箇所の子育て広場で気軽に集える親子の交流の場を提供した。 ・父親支援事業を12回行い、延456人が参加した。 ・子育てグループ活動室の貸出を行い、延398グループが利用し、活動した。
0703				児童青少年課	継続	市内全児童館において子育て支援事業を継続的に実施する。また、単設の学童クラブ施設を活用した乳幼児親子を対象とした出前児童館事業も継続的に実施した。 市民と共催で地域での子育てをテーマにした「こそだてフェスタ」を実施し、子育て世代への支援を行った。
2002				社会福祉協議会	実施	地域活動拠点での学生の子育てグループを支援した。 「歳末たすけあい・地域福祉募金」の配分金を活用して、子育て(支援)グループに助成金を交付した。(6団体) 子育てサロン開設講座を実施した。 子育てグループの情報をホームページに掲載して情報提供を行った。 子育てフェスタに協力した。

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

3 子育て家庭の支え合い

3-2 子育ての支え合い

3-2-1 子育ての支え合い意識

				22.4月組 組織改正	24年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な 取り組み内容
1601	5	地域の人材発掘・活用の推進(再掲) 1-2-1、(再掲) 4-3	継続	社会教育 課	実施 充実	・人材情報の収集整備を行った (平成25年3月31日現在68人、 128件登録) ・市民の人材情報の活用を促進 するため、生涯学習人材情報登 録者の自主企画講座一覧(平成 25年3月31日現在28人から47講 座の登録)を作成し、公民館・学 校等関係機関へのPR、周知を 図った。
2002				社会福祉 協議会	実施	都立高校の奉仕活動授業での 講演(保谷)。 小学校での総合的な学習の時間 における福祉体験授業(11校 26プログラム、車椅子体験・アイ マスク体験・手話体験・点字体 験・視覚障がい者講演・盲導犬 利用者講演)を登録ボランティア ・ボランティア団体などと実施。
2003				シルバー人 材センター	実施	小中学生対象各種教室の開催 (継続) ○東伏見教室 その他教室 小学生習字 ○西原教室 学習教室 小学生算数・国語 中学生英語・数学 小学生対象夏休み無料手芸教 室の開催(継続)
1999				関係各課		

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

3 子育て家庭の支え合い

3-2 子育ての支え合い

3-2-2 子育て・子育てに関する支え合いの状況（1）学習の機会

所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	22.4月組 織改正	24年度	
				担当課	実績	具体的な 取り組み内容
0703	1 重-3	プレイリーダーの養成と活用(再掲) プレイリーダーの育成事業を実施する。また、小学校での「遊びの学校」事業や、地域の子どもの遊び支援グループなどに対する、プレイリーダー(子どもの遊びや活動の支援者)派遣事業を推進していく。また、中学生対象の遊びの事業を充実する。 1-2-1、(再掲)1-2-2、4-4	継続	児童青少年課	継続	民間の専門事業者(NPO)に講師を依頼し、市内大学・高校などに働きかけを行い養成講座を実施した。養成講座終了後のアウトプットの場として、市民まつりの児童館ブースで子どもたちを相手に遊びを提供したところ、児童館ブースに例年以上の来場者がくるなど、成功に終わった。
1601				社会教育課	検討	・プレイリーダー育成後の活用について、児童青少年課と協議した。
0605	2	子育てに関する学習機会の充実(再掲) 妊産婦や乳幼児の健康増進のため、両親学級、育児学級、各種の講習・講座・講演、健康教育・グループワークの機会や知識の普及、仲間づくりなどの内容を見直し、充実する。 新設した1歳児クラス・2歳児すくすくクラス事業の普及をさらに推進する。また幼児期だけでなく、思春期の子どもをもつ親に対する学習機会についても充実させる。 3-1、(再掲)3-2-2-(2)、4-2-1	継続	健康課	継続	ファミリー学級・乳幼児健診、離乳食講習会、育児相談などでの栄養・食生活に関する相談や教育を実施。 とりわけ、離乳食講習会は需要が高いため、地域子育て支援センター(保育園)との連携をはかり、地域子育て支援センターで実施している離乳食講習会に関する情報提供を引き続き充実させた。
1603				公民館	継続	・保育付講座の実施 乳幼児を持つ女性対象の講座を実施 10講座 総計137回 延べ1,790人 ・保育付のサークル22団体の活動の支援 ・保育付講座をPRするための「保育室プレ体験」6回 親子40組 ・情報の提供 掲示板、パンフレットコーナーでの情報の提供、問い合わせのあった市民への学習相談の実施
0701				子育て支援課	検討	検討
0704				子ども家庭支援センター	充実	・西東京市私立幼稚園連絡協議会と共催により、子育て世代の保護者を対象とした講演会を開催した。 ・2箇所の子育て広場において図書等を活用した事業を実施した。

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

3 子育て家庭の支え合い

3-2 子育ての支え合い

3-2-2 子育て・子育てに関する支え合いの状況（1）学習の機会

				22.4月組 織改正	24年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な 取り組み内容
0701	3	幼稚園、保育園における子育てに関する学習の 機会の検討 幼稚園・保育園での父母会とともに、これから子ど もを持つ人に子どもの育ちを体験してもらうため、 幼稚園・保育園での実際の子どもたちとのふれあ いを中心とした父母教室の開催を、母子保健と連 携して推進する。	新規	子育て支援 課	検討	検討
0702				保育課	実施	子育て広場事業で実施している 「赤ちゃんのつどい」、「離乳食 講習会」に積極的に参加しても らった。各センターで年4回開催
0605				健康課	検討	未実施。 思春期については学校との連携 も欠かせないため、教育委員会 に提案したが、本年度も連携を 持つことができなかった。
0704	4	家庭教育支援事業の推進（再掲） 親自身が親役割を理解し、主体的に家庭教育に 取り組んでいく力をつけていけるよう、学校・保育 園・幼稚園・児童館・学童クラブ・公民館等が連携 し、家庭教育支援事業に取り組む。 また、家庭の教育力を高める方策の一つとして、家 族それぞれが多様な形で参画可能な事業展開を 推進する。	継続	子ども家庭 支援セン ター	継続	・基幹型保育園と連携し、子育て 情報の提供を行った。 ・子育て広場で父親に対する支 援事業を12回実施した。
0702				保育課	実施	基幹型保育園において、グルー プ交流、子育て講座を実施し、 子育て家庭の支援を行った。 各園平均4,000人(延人数)の参 加があった。
0703				児童青少 年課	継続	児童館における各種イベントや、 学童クラブにおける父母会共催 行事の際の父親への協力要請と 参画の積極的な呼びかけを引き 続き図った。
0605				健康課	継続	ファミリー学級(1コース2日間)を 全て土曜日を含むコースにし、 父親の参加しやすい環境で実施 した。 こんにちは赤ちゃん事業(訪 問)、その他の事業や機会を通し て、家庭や育児について具体的 にイメージを持てるように努め た。
1603				公民館	継続	・子育てに関する講座を6講座、 述べ90回、親子がふれあう機会 を提供する講座11講座を延べ22 回実施した。 ・保育付のサークル22団体の活 動を支援した。 「お父さんと味噌作りに挑戦し よう」を実施し、父と子18人が参加 した。

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

3 子育て家庭の支え合い

3-2 子育ての支え合い

3-2-2 子育て・子育てに関する支え合いの状況（1）学習の機会

所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	22.4月組 織改正	24年度	
				担当課	実績	具体的な 取り組み内容
0704	5	父親の育児参加の推進(再掲) 子育ての男女共同参画を推進するため、男性が育児休業や子育て休暇をとりやすい職場環境づくりや育児休業法の周知徹底、企業に対する啓発を図る。 男性の育児や家事への参画を促すため、男性への学習機会や情報の提供を推進する。そのために、男性が参加しやすい企画や事業を、実施曜日や時間帯等を考慮しながら実施する。	継続	子ども家庭支援センター	継続	・広場で父親参加の交流事業を12回実施し、延456人が参加した。
0404				協働コミュニティ課	実施	「男女共同参画週間」のイベントとして、男性の育児参加を促すワーク・ライフ・バランスの講演会を平成24年7月7日(土)に開催。参加者28名 また、男女平等推進センター パリテの登録団体「西東京市パパクラブ」が企画した「家庭・地域・育児を楽しむ父親学級」全6回(毎土曜日)の講座が、NPO等企画提案事業の新規チャレンジ部門で採択され、実施した。
0605				健康課	継続	ファミリー学級 16回開催(2日目土曜日開催)にて、「先輩パパの話」を継続実施している
1603				公民館	継続 試行	・親子いろいろ体験講座「お父さんと味噌作りに挑戦しよう」を実施 父と子18人が参加した。
1604	6	読み聞かせリーダー育成事業の推進(再掲) 子どもが本に親しみ、読書にいそむきっかけとなる「読み聞かせリーダー」の育成に努める。 1-2-2	継続	図書館	実施	フォローアップ講座(2回)を実施 養成講座受講生の継続的活動支援をおこなった。

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

3 子育て家庭の支え合い

3-2 子育ての支え合い

3-2-2 子育て・子育てに関する支え合いの状況（2）交流

				22.4月組織 改正	24年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な 取り組み内容
0703	1 重-3	「遊びの学校」事業の検討・実施(再掲) 現行の小学校の校庭開放、地域生涯学習事業、出前児童館との連携を図りながら、放課後の子どもの安全・安心の活動拠点、居場所事業として「遊びの学校」事業を、国の「放課後子どもプラン」を視野に入れながら検討・実施する。 実施にあたっては、地域の育成会や関連団体、地域市民の協力や参加を得ながら小学校施設を活用し、子どもが安心して集い・遊び・学べる場所とするためにプレイリーダーを配置していく。	継続	児童青少年課	継続	出前児童館の開催や育成会と協力した行事などを継続的に実施した。 放課後子ども教室は、2/19校で開設され情報共有を行う程度であった。
1601		1-2-2(再掲)4-4		社会教育課	実施	・放課後子供教室の都補助申請を実施した。 ・学童クラブとの連携を図るため、児童青少年課と協議を行った。
0704	2 重-11	子ども総合支援センターにおける子育てグループの活動場所の充実と活動の推進 子ども総合支援センター内の活動室について、子育てサークルや子育て関連のボランティアによる利用の実態を把握し、より使いやすい場所になるような工夫を図っていく。	継続	子ども家庭支援センター	継続	・子育てグループ活動室の利用が進み、延398グループが利用し、活動した。 ・子育てグループ活動室利用団体に対して、子育てハンドブックサークル情報への掲載を促した。
0702	3	園庭開放の推進 乳幼児とその親の交流と遊び場づくりのため、保育園の園庭開放を推進し、一層の充実を図る。 (再掲)4-4	継続	保育課	実施	基幹型保育園において、グループ交流、子育て講座を実施し、子育て家庭の支援を行った。 各園平均4,000人(延人数)の参加があった。
0605	4	子育てに関する学習機会の充実(再掲) 妊産婦や乳幼児の健康増進のため、両親学級、育児学級、各種の講習・講座・講演、健康教育・グループワークの機会や知識の普及、仲間づくりなどの内容を見直し、充実する。 新設した1歳児クラス・2歳児すくすくクラス事業の普及をさらに推進する。また幼児期だけでなく、思春期の子どもをもつ親に対する学習機会についても充実させる。 (再掲)3-1、3-2-2-(1)、4-2-1	継続	健康課	継続	ファミリー学級・乳幼児健診、離乳食講習会、育児相談などでの栄養・食生活に関する相談や教育を実施。 とりわけ、離乳食講習会は需要が高いため、地域子育て支援センター(保育園)との連携をはかり、地域子育て支援センターで実施している離乳食講習会に関する情報提供を引き続き充実させた。
1603				公民館	継続	・保育付講座の実施 乳幼児を持つ女性対象の講座を実施 10講座 総計137回 延べ1,790人 ・保育付のサークル22団体の活動の支援 ・保育付講座をPRするための「保育室プレ体験」6回 親子40組 ・情報の提供 掲示板、パンフレットコーナーでの情報の提供、問い合わせのあった市民への学習相談の実施
0701				子育て支援課	検討	検討

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

3 子育て家庭の支え合い

3-2 子育ての支え合い

3-2-2 子育て・子育てに関する支え合いの状況（2）交流

				22.4月組織 改正	24年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な 取り組み内容
0704				子ども家庭 支援セン ター	充実	・西東京市私立幼稚園連絡協議 会と共催により、子育て世代の保 護者を対象とした講演会を開催 した。 ・2箇所の子育て広場において図 書等を活用した事業を実施し た。
0702	5	乳幼児とふれ合う場づくりの推進(再掲) 小・中・高校生と乳幼児とのふれ合い活動や、遊び のボランティア、ベビーシッター活動を通じて、異 年齢の子どもたちの交流をすすめる。 保育園や幼稚園などが主催する行事に、小学生・ 中学生・高校生などが参加できるように促進する。 小学校・中学校・高校の授業等の中で、幼稚園や 保育園の訪問やボランティアなどを推進する。	継続	保育課	実施	小学生、中学生の職場体験、高 校生のボランティアを受け入れ た。
1503				教育指導課	実施	・各中学校の実態に応じ、職場 体験で、幼稚園や保育園におけ るボランティア体験を実施した。
0701				子育て支援 課	調査 検討	調査検討
0704	6	子育てひろば事業の充実 のどかひろば、ピッコロひろば、保育園、児童館で 実施している子育てひろば事業を充実し、多様な ニーズを抱える利用者により幅広く応えていける広 場運営に努める。活動室の貸し出しなどを通じて 市民との連携を深める。	継続	子ども家庭 支援セン ター	充実	・のどか広場利用者は延27,816 人、ピッコロ広場利用者は延 29,921人だった。 ・父親支援事業を12回行い、延 456人が参加した。 ・子育てグループ活動室につい て、延398グループが利用した。 ・図書等を活用した事業をのど か広場とピッコロ広場合わせて20 回開催した。
0703				児童青少年 課	継続	子育て支援に係わる事業は引き 続き実施する。 市内全児童館で「赤ちゃんふ らっと事業」の対応を完了した。 地域住民・サークルや民間業 者、子育て関係機関と連携した 「こそだてフェスタへ」の協力を 行った
0702				保育課	実施	市内保育園において子育て支 援に係わる事業を定期的に実施 した。 また、児童館と基幹型保育園と の連携事業も定期的に実施し た。

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

3 子育て家庭の支え合い

3-2 子育ての支え合い

3-2-2 子育て・子育てに関する支え合いの状況（3）相談

				22.4月組 織改正	24年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な 取り組み内容
0704	1 重-9	相談に関する情報提供の充実 市報や市のホームページでの情報提供、インターネット活用、子育て施設等での相談に関する情報提供を継続して進めるとともに、青少年も含めた子ども・子育てに関わる情報の一元化を図るよう検討していく。 また、ITネットワークを活用した子育て家庭の相互交流活動の活性化について検討する。	継続	子ども家庭支援センター	継続	・市報、ホームページ、リーフレット、子育てハンドブック等で子育て支援関連の情報を提供した。 ・子育て関連の情報を掲示し、問い合わせがあった際には電話等で情報提供した。
0605				健康課	継続	・市報、ホームページ、リーフレット、子育てハンドブック等で子育て支援関連の情報を提供した。 ・子育て関連の情報を掲示し、問い合わせがあった際には電話等で情報提供した。
1999				関係各課		
0604	2 重-14	障害のある子どもの療育・教育相談事業の推進 電話・来所・巡回等、多様な形態での療育や教育に関する相談を推進する。 早期から障害児の相談を受けるとともに、就学相談を適切にすすめられるよう、こどもの発達センター(子ども家庭支援センター)、幼児施設など関係機関とより一層の協力・連携を図る。 就学後も、相談事業の継続と支援の充実を図る。 乳幼児期からの成長過程に応じて、切れ目ない支援を実施できるよう制度改善を実施する。	継続	障害福祉課	継続	電話・来所の相談、また関係各機関とも連携をとりながら相談支援の継続と充実を図った。
0704				子ども家庭支援センター	実施	発達支援コーディネーターが年間100件以上の相談を受け、関係機関との連携業務では毎月数回の園訪問を行うなど相談・連携の充実が図れた。
1505		(再掲)4-1-2		教育支援課	継続	市立小・中学校特別支援学級(固定制)、都立特別支援学校(盲・ろう・養護)への就学・転学相談、通級への入級相談を行った。学校において臨床心理士(週1回派遣)による相談を行った。保育園に対して、一定期間臨床心理士を派遣し、保育士、保護者の相談に応じた。また保護者の希望により保育園や、療育施設と連携して「就学支援シート」の作成を依頼し、就学先の小学校へ送付し継続した支援を円滑に出来るように取組んだ。

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

3 子育て家庭の支え合い

3-2 子育ての支え合い

3-2-2 子育て・子育てに関する支え合いの状況（3）相談

				22.4月組 織改正	24年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な 取り組み内容
0704	3 重- 15	育児・子育て相談事業の充実 母子保健事業の育児相談の充実、とりわけ訪問相談の充実を図る。子ども総合支援センター、地域子育て支援センター、保育園、児童館など、多様な場所で行われることになる子育て相談事業との役割分担と協働を推進する。各機関での相談が断片的な内容になることを防止するため、関係機関の連携を実施する。 地域の子育て経験者（先輩パパ・ママ）による子育て相談の実施を検討するとともに、中高生やその保護者のための相談体制を充実する。 新生児期からの訪問や健診事業などにおいて連絡を取ることができなかった家庭に対しては継続的な働きかけを実施する。	継続	子ども家庭支援センター	継続	・子育てに関するあらゆる相談に応じ、関係機関と連携して子育て家庭への支援に努めた。月～土まで相談を実施し、新規相談は649件であった。 ・ピッコロ広場、のどか広場で、常時相談を受け、必要時は専門機関と連携をしながら、保護者の相談に応じた。 ・子ども家庭支援センター事業を市広報に年1回掲載、小中学生向けリーフレット等を配布した。
0605				健康課	継続	・ファミリー学級、こんにちは赤ちゃん訪問、育児相談等の場を通して相談できる体制や情報提供に努めた。 ・ファミリー学級では先輩パパからの話等、夫婦に相談できる体制について周知を図った。
0702				保育課	継続	関係する機関（児童館、学童クラブ等）と連携した。 すみよし保育園の年間利用者数4,460人
0703				児童青少年課	継続	市内全児童館における子育て支援に係わる事業を実施した。 子育て相談事業のうち児童館が担うべき役割について検討した。
0704	4	子育て相談担当者の研修事業の充実 保健・福祉・教育等、さまざまな機関における子育て相談担当者の研修を充実する。	継続	子ども家庭支援センター	継続	相談担当者のスキルアップを図るため、児童福祉司任用資格の取得を行った。東京都主催の子ども家庭支援センター職員研修を受講した。
				健康課	継続	・症例検討会の実施 年12回 ・症例検討会の一環として、母子保健事業従事者を対象に、講習会を実施
1999				関係各課		

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

3 子育て家庭の支え合い

3-2 子育ての支え合い

3-2-2 子育て・子育てに関する支え合いの状況（4）情報

				22.4月組 織改正	24年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な 取り組み内容
0103	1 重-9	子育て家庭への情報提供の充実 市報、市のホームページ、パンフレット、リーフレット、機関誌などを通じて、子育てNPO・グループや幼稚園・保育園・学校などの子育て情報を充実する。 (再掲)4-1-1	継続	秘書広報課	継続	担当課からの依頼により、子育て家庭への情報を市報、ホームページなどの広報媒体の特性を活かした情報発信を行った。平成24年7月からツイッターによるイベント情報の提供を試行的に開始した。
0702				保育課	実施	市HPに認可保育所の欠員状況とともに、毎月20日と1日に認証保育所の空き状況の掲載をおこなった。 ・認可保育所、認可外保育施設の各案内冊子の作成、子育て支援センターのPR誌の発行。 ・市HPに基幹型保育園の講座情報を掲載
0701				子育て支援課	実施	子育てハンドブックの発行
1999				関係各課		
0403	2	外国語による広報活動の充実 生活に関わる内容のパンフレットについて、市民・NPOの協力を得て、平易な日本語での記載や外国人登録者数の変化に応じた言語をカバーする等、継続的な推進を図る。	継続	文化振興課	実施	市報から必要な情報を抜粋し、平易な日本語及び英語・中国語・ハングルで毎月1回「くらしの情報」を発行した。毎月560部。
0605	3	救急医療情報提供の充実 市報や市のホームページを通じて、救急医療情報の提供を充実する。	継続	健康課	継続	市報や市のホームページ、年1回全戸配布の西東京市健康事業ガイド、窓口で配布している西東京市医療マップに、休日の応急診療情報を掲載する。夜間については、24時間対応する東京都医療機関案内サービス（ひまわり）を周知している。

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

3 子育て家庭の支え合い

3-2 子育ての支え合い

3-2-2 子育て・子育てに関する支え合いの状況（4）情報

				22.4月組 組織改正	24年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な 取り組み内容
0704	4 重-8	育児・子育て相談事業の充実(再掲) 母子保健事業の育児相談の充実、とりわけ訪問相談の充実を図る。子ども総合支援センター、地域子育て支援センター、保育園、児童館など、多様な場所で行われることになる子育て相談事業との役割分担と協働を推進する。各機関での相談が断片的な内容になることを防止するため、関係機関の連携を実施する。 地域の子育て経験者(先輩パパ・ママ)による子育て相談の実施を検討するとともに、中高生やその保護者のための相談体制を充実する。 新生児期からの訪問や健診事業などにおいて連絡を取ることができなかった家庭に対しては継続的な働きかけを実施する。 3-2-2-(3)、(再掲)4-2-1	継続	子ども家庭支援センター	継続	・子育てに関するあらゆる相談に応じ、関係機関と連携して子育て家庭への支援に努めた。月～土まで相談を実施し、新規相談は649件であった。 ・ピッコロ広場、のどか広場で、常時相談を受け、必要時は専門機関と連携をしながら、保護者の相談に応じた。 ・子ども家庭支援センター事業を市広報に年1回掲載、小中学生向けリーフレット等を配布した。
0605				健康課	継続	・ファミリー学級、こんにちは赤ちゃん訪問、育児相談等の場を通して相談できる体制や情報提供に努めた。 ・ファミリー学級では先輩パパからの話等、夫婦に相談できる体制について周知を図った。 ・
0702				保育課	継続	関係する機関(児童館、学童クラブ等)と連携した。 すみよし保育園の年間利用者数4,460人
0703				児童青少年課	継続	市内全児童館における子育て支援に係わる事業を実施した。 子育て相談事業のうち児童館が担うべき役割について検討した。
0701	5	子育てハンドブックの充実、子育て施設・遊び場マップ等の検討 西東京市子育てハンドブックを充実させる。 また、子どもたちが遊べる施設や場所等の情報を掲載した「子育て施設・遊び場マップ」について検討する。	新規	子育て支援課	実施	子育てハンドブックの発行